

第23回全国障害者スポーツ大会 2024

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

大会報告書

はじめに

【全国障害者スポーツ大会の意義と歩み】

全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的として開催される国内最大の障害者スポーツの祭典です。

全国障害者スポーツ大会は、平成12年（2000年）まで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障がい者スポーツ大会」を統合し、平成13年（2001年）に第一回大会が宮城県で開催されました。以降、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックと同じように、毎年、国民体育大会終了後に開催されています。

【SAGA2024大会の概要】

基本方針 佐賀県で開催する第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA 2024」は「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに掲げ、「する」「観る」「支える」の視点から、選手も、選手でない人も参加できる大会、エンターテインメント性の高い大会、みんなで力を合わせ、つくる大会とする。

感動する。魂が揺さぶられる。年齢や国境を越えて、人と人がつながる。心身ともに健やかになる。スポーツには、人間の根源的な喜びを生み出すチカラがある。障がいのある人もそうでない人もすべての人にスポーツの力を届ける、新しい大会を目指す。

大会日程 令和6年10月26日（土）～28日（月）
会場地 佐賀市など7市
実施競技 個人7競技、団体7競技、オープン競技7競技
参加自治体 47都道府県+20指定都市

【札幌選手団の活躍】

選手団の構成 個人競技 31人、団体競技 24人、
役員 38人 合計 93人
成績 金10個、銀9個、銅5個

【選手団の日程】

10月10日（木）	結団式
10月24日（木）	個人競技出発
10月25日（金）	団体競技出発
	各会場にて公式練習
10月26日（土）	開会式・大会1日目
10月27日（日）	大会2日目
10月28日（月）	大会3日目・閉会式
10月29日（火）	帰札・解団式



一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ協会

強化練習 9月2日～10月21日

大会に向けて各競技
日頃の練習の成果を発揮できるよう・・・



結団式&選手団全体会議 10月10日(木) 札幌市身体障害者福祉センター

札幌市選手団団旗が浅香団長に授与された後、金谷スポーツ部長から秋元市長に代わって「日頃の練習の成果を発揮し、観る人が感動して、勇気づけられるようなパフォーマンスを期待したいと思います。」と激励の挨拶がありました。

その後、札幌市選手団としての留意事項・スケジュール・ユニホーム支給など、大会に向けて気持ちを一つに・・・



出発 10月24日(木):個人 10月25日(金):団体

朝、札幌市役所を出発して新千歳空港から福岡空港へ、そして宿泊地の佐賀県へバスで移動しました。選手は期待と不安で緊張ぎみ・・・



開会式 10月26日(土) SAGAスタジアム(佐賀市)

雨のなか、47都道府県と20政令指定都市の選手がSAGAスタジアムに入場しました。札幌市選手団は北海道に続いて14番目に緊張しながら笑顔で行進しました。式典には秋篠宮ご夫妻がご臨席して、「参加される皆様には、日ごろの練習の成果を存分に発揮され、素晴らしいパフォーマンスを披露していただければと思います。」と御挨拶され、続いて炬火が点火されました。



各競技の紹介

◆ 陸上 (身体・知的) : SAGAスタジアム (佐賀市)



◆ 水泳 (身体・知的) : SAGAアクア (佐賀市)



◆ 卓球 (身体・知的・精神) : 基山町総合体育館 (基山町)



◆ **アーチェリー (身体) :**
鹿島市陸上競技場 (鹿島市)



◆ **フライングディスク (知的) :**
伊万里市国見台陸上競技場 (伊万里市)



◆ **ボウリング (知的) :**
ボウルアーガス (佐賀市)



◆ **ボッチャ (身体) :**
U-SPO嬉野市中央体育館 (嬉野市)



◆ **サッカー (知的) :**
鳥栖市陸上競技場 (鳥栖市)

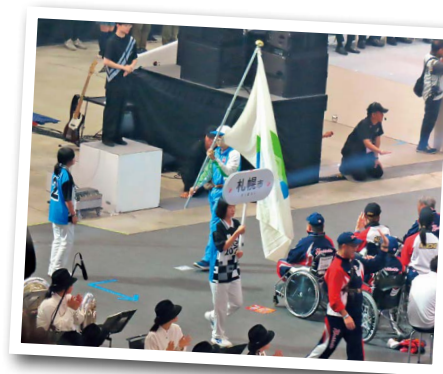
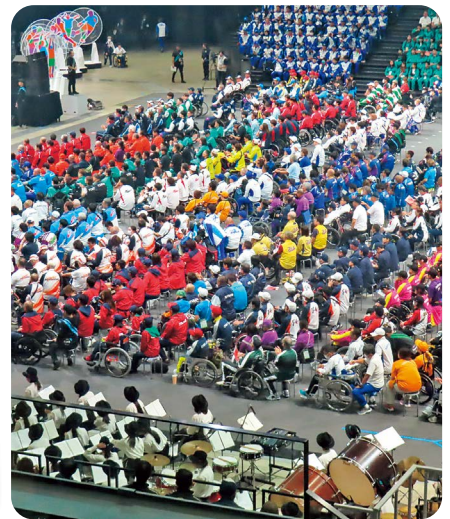


◆ **バスケットボール (知的) :**
唐津市鎮西スポーツセンター (唐津市)



閉会式 10月28日(月) SAGAアリーナ

高円宮妃久子さまがご臨席され、「皆さんの活躍は、困難な状況におかれている方々や逆境に立ち向かおうとしている方々にたくさんの元気や希望、勇気を与えたことと思います。」と述べられた後、来年の開催地である滋賀県に大会旗が引き継がれ、大会を見守った炬火が納火されて、3日間にわたった障がい者スポーツの祭典が閉幕しました。



お別れ会(陸上) 10月28日(月) SAGAスタジアム選手村

札幌選手団のお世話・応援をしてくれた
佐賀県職員・ボランティアさんへ
“ありがとう”“感謝”“お疲れ様でした”



解団式 10月29日(火) 新千歳空港

佐賀県から福岡空港経由で新千歳空港に到着し、選手は長旅で疲れもありましたが、充実した佐賀大会を終え、選手皆、笑顔で大会の余韻を楽しんでおりました。秋元市長に代わってスポーツ局松島スポーツ振興担当課長から、「嬉しいことも悔しいこともあったかと思いますが、今回の大会で得た経験を糧に選手の皆さんには、それぞれの夢や目標に向かって、より一層ご活躍されますことをお祈り申し上げます。」と挨拶があり、そして「札幌選手団の成績は金メダル10個、銀メダル9個、銅メダル5個、計24個と大活躍でした。」と大会結果報告がありました。





陸上選手 高村 直美

今大会では、私を含め3名が初出場し、それぞれがベストを尽くすことができました。最近まで名前も知らなかったアスリート達がメダル獲得に貢献できたことを喜び合い、悔しさを胸に共にリベンジを誓い合い、最終日には選手団としての誇りを持ち団結していました。皆で応援しあい、背中を押し、声援に応じて力を尽くすことができた感動は一人一人の輝きとなりました。私も皆の頑張りを見て胸が熱くなりました。私の走りが誰かの心に響いてくれたら嬉しいです。障がいや年齢を超え、スポーツを通してこの輝きを得ることができたのは、全スポに関わる全ての皆様のおかげです。滋賀大会にも選手として挑戦できるよう、1年かけて力を磨いていきたいと思います。貴重な機会を頂き、最後まで私たち選手を支えてくださり、ありがとうございました。



陸上選手 佐藤 爵

今回の「SAGA2024」に於いて、前回の自分を上回る記録を出すことができても達成感が得られました。レース以外でも充実とした時間を送ることができました。さらに、初めて出場した人に招集場所まで一緒に同行するというのも良い経験になりました。6日間本当にありがとうございました。



水泳選手 伊藤 亜記

10月24日から29日迄、佐賀県で開催された第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」に参加してきました。私自身2012年以来3度目の出場種目は25m自由形と25m背泳ぎで結果は両方とも金メダルでしたが、記録は思うよう出ず事ができず目標としていた自己ベスト更新及び大会新記録には届かず、残念に思っています。次回参加することができた時には、もう一度大会記録にチャレンジしたいと思います。

今回の大会では、人生初の大舞台である開会式に参加し、式典のメインイベントの入場行進はすごく感動しました。その他にも背泳ぎで、バックストロークレッジという機械を使用したりと普段経験することができない貴重な体験ができた大会でした。



水泳選手 高橋 健

私は今回初めてこの大会に出場しました。25m、50mの自由形に出場しました。結果は50mで銀メダル、25mで銅メダルを獲得できました。結果には満足していませんが、地元の方々、全国からのお客さんの声援がとても温かく、この雰囲気の中で泳がせて頂いた事に感謝いたします。

そして、「自信」と「経験値」というとても大きな物を手に入れました。この経験を胸に、これからも頑張っていこうと思います。



卓球選手 佐々木 周哉

2回目の出場となった今回は残念ながらメダル獲得とはなりませんでしたが、それでも札幌市の選手をはじめ、様々な都道府県の選手と仲良くなることができて楽しかったです。

今回の大会で浮き彫りになった課題を克服しようと思います。また、通用したものもあったので引き続き頑張りたいと思います。

6日間にわたりスタッフ、指導者の方には大変お世話になりました。また出場できるよう卓球と仕事を両立して頑張りたいと思います。



卓球選手 嶋口 英志

中学から卓球を続けてきました。その力でこの大会に出場することができて本当に嬉しかったです。この大会の前に色々あり、疲れたまま会場へ出発する日が来てしまいました。今までの大会より緊張していましたが、楽しむように言われたこと、選手の皆さんから熱意が伝わってきたことで、少しずつ緊張がほぐれるように感じました。

2位でしたが、自分を応援して下さったことがとても嬉しかったです。余裕ができたならまたこのような大会に参加させていただきたいです。



卓球選手 大倉 由晴

私は2010年千葉大会に続いて14年ぶり、2度目の大会となりました。競技初日岐阜県の戸谷さんには11対0、12対10、11対7、2日目青森県の高橋さんとは11対6、11対4、11対9のストレート勝ちで目標としていた金メダルを獲得することができました。いい思い出です。コーチ他、ボランティアスタッフの方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。感謝、感謝です！



4 を 振 り 返 っ て



アーチェリー選手

植木 和彦

アーチェリーのリカープ30mダブルラウンド部門の「その他の車いす」種別に出場しました。完全脊損による両下肢機能全廃で車いす生活をしています。10月24日早朝、長野県大村市の選手宿舎へ。バリアフリールームが1室貸し切りで、他県選手との交流も印象に残りました。25日公式練習、26日開会式と公式練習、27日佐賀県鹿島市陸上競技場での試合。雲一つ無い猛暑の中、午前36射、午後36射を無事打ち終え、金メダルを獲得。内心「ホッ」としたのが正直な気持ちでした。佐賀県職員と看護学生さん方のきめ細やかな心遣いと応援、札幌市アーチェリー指導員からのご指導ご鞭撻の賜物と存じます。今大会は普段治水系の技術職である職員が総出であることに感銘を受けました。28日SAGAアリーナ室内での閉会式、空間に一体感を感じ、実に感動的でした。見守ってくれた選手団役員の皆様、大会運営や選手のサポートをして頂いた佐賀県職員とボランティアの皆様、共に戦った全選手の皆様に、謹んで感謝申し上げます。



ボウリング選手

平野井 渉

SAGA2024ボウリング競技大会に札幌との寒暖差に少し驚きながら出場してきました。

競技中は緊張してミスが続いたりしましたが、平常心で楽しんで投げることを心掛けました。

また、福岡に住んでいる友人、恩師のコーチ、職場の上司が応援に来てくれたのでとてもうれしかったです。

大会中はボランティアの方々に親切にしてもらい、他県の選手とも交流ができて、とても楽しい大会となりました。

大会に出場するにあたり指導してくれたコーチ、関係者の皆様に感謝し次回の大会ではさらに上を目指したいと思っています。

ありがとうございました。



ボッチャ選手

小野 聖恵

6月に全国障害者スポーツ大会の種目ボッチャの選手に決まってまさか私がボッチャの選手に選ばれると思っていたののでびっくりしました。全スポに行く前にペア戦なのでペアを組む人と一緒に一所懸命練習をしました。

試合は、とっても緊張したけど一緒に組んだ人と話し合いながらボールを投げました。自分が思っていたところにボールが投げられた時は、ホッとしました。結果は、銀メダルでちょっとがっかりしましたが銀メダルをとれたので良かったです。

私達についてくれた学生ボランティアさんは、荷物を持ってくれたりたくさんお話をしてくれたりボッチャの試合時は、応援をしてくれたりとても親切にもらったので嬉しかったです。

閉会式は、たくさんの選手が集まるのをみて凄いなあと思いました。たくさんの選手と話をしたりいい経験ができたと思いました。とっても楽しい5日間でした。

全スポのスタッフの皆様ありがとうございました。



フライングディスク選手

虫狩 健介

今回、全国大会に初めて参加しました。大勢の選手がいて驚きました。ボランティアの皆さんに優しくしてもらえました。九州に行ったのは初めてでした。佐賀の美味しい食べ物や素敵な景色がとても印象に残っています。閉会式のコンサートがとても良かったです。

5泊6日があったという間でした。全国大会の壁は高く今回メダルには届きませんでしたが、次はメダルを目指して参加したいです。良い経験をさせていただき、ありがとうございました。



サッカー選手

工藤 龍輝

今回の全国大会は、何もできずチームも初戦敗退となり、とても悔しい思いをしました。宿舎では、選手だけでミーティングをし、何がダメだったかどのようにしたら上手いのか、次にどうしたら上手いのか話し合いを行いました。

来年の全国に向けて、日々の練習に真剣に取り組み、優勝することを目標に続けて頑張っていきたいと思います。



札幌選手団帯同トレーナー

檜館 強拓

2024SAGA大会では、札幌選手団のトレーナーとして帯同させていただきました。私、檜館と安部の2名で対応させていただき、初めての試みということもあり、どのような形になるか不安もありましたが、選手のコンディショニングを中心に取り組みました。

選手たちに対し、状況を確認させて頂いた上で徒手や機器、テーピングで運動制御や痛みの除去、対処療法を行い、選手だけでなくスタッフの皆さまにもサポートを提供することができました。大会中、多くの方から感謝の言葉をいただき、大変嬉しく思っています。これも菅田事務局長をはじめ、コーチやスタッフの方々のご理解と連携があってこそ実現したものです。この貴重な経験とご縁を大切に、今後もパラトレーナーとして尽力してまいります。ありがとうございました。



バスケットボール選手

橋本 美優

札幌チームは初めて全国大会に出場する人が多く、緊張や不安がありました。初戦の山口戦では全員が気持ちを切らさず最後までプレーしました。山口県チームの素晴らしさに圧倒されました。交流戦では一勝一敗を収め、チームや個人の課題も見つけられました。他県の選手とも交流でき、さらに自分たちの絆を深めることができました。この経験を活かし、次回は成長して挑みたいです。

【札幌選手団】名簿

団 長 浅香 博文
 副団長 長江 睦子
 総 務 松井 修一
 トレーナー（2名） 菅田 恒 深宮 しのぶ 鈴木 香 盛 和夫
 榎館 強拓 安部 朋美

陸上（20名）

コーチ 鎌田 幸枝 早崎 勝
 伝法谷 希美 駒井 浩（伴走者）
 岡田 裕樹 高橋 隆芳
 杉本 富武

選 手 高村 直美 草薨 章一
 伝法谷 篤人 原 雄哉
 佐々木 好誠 五野井 志保子
 堺本 裕哉 伊藤 力哉
 佐藤 爵 田中 岳斗
 羽賀 太一 大西 悠斗
 塩田 一真

水泳（7名）

コーチ 渡辺 和彦 高橋 ちか子
 細野 記一
 選 手 高橋 健 伊藤 亜記
 宮崎 哲 山岸 保輝

アーチェリー（2名）

コーチ 倉知 永子
 選 手 植木 和彦

卓球（11名）

コーチ 清水 明子 尾山 輝美
 安藤 孝志 小倉 弘道
 青木 由佳
 選 手 大倉 由晴 保坂 正勝
 佐々木 周哉 嶋口 英志
 佐藤 元勲 館山 直子

フライングディスク（3名）

コーチ 大西 元
 選 手 岩間 祐介 虫狩 健介

ボウリング（3名）

コーチ 木村 一希
 選 手 平野井 渉 鈴木 健一

ボッチャ（4名）

コーチ 菅 大地 小野 聖恵
 選 手 堀口 雄市 小野 聖恵

サッカー（20名）

監 督 小島 諭師
 コーチ 馳川 尚平 佐々木 翼
 トレーナー 久保 昌弘
 選 手 依田 航 高橋 巧
 國吉 拓夢 彦根 一成
 梶浦 稜真 澤井 凌
 工藤 龍輝 阿部 蓮
 前田 拓也 高橋 正英
 枝松 利一 森田 翔飛
 牛島 陽輝 只野 絢太郎
 中本 裕斗 吉田 一考

バスケットボール（12名）

監 督 竹田 圭汰
 コーチ 中澤 有貴 中瀬 真介
 トレーナー 富田 悠平
 選 手 橋本 美優 弓場 桃香
 森田 ひな 遠山 心
 工藤 沙花 大田 愛花
 佐藤 美来 三浦 明菜

スズポの伝言板

『第24回全国障害者スポーツ大会のお知らせ』

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く障スポ 2025

第24回全国障害者スポーツ大会 2025年10月25日(土)～10月27日(月)



大会日程

令和7年10月25日(土)～27日(月)

競技会場

滋賀県彦根市等12市

スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

マスコット

「キッツフィー」&「チャッフィー」

実施競技

個人競技7競技、団体競技7競技、
オープン競技4競技

編集後記

今年は佐賀県「SAGA2024」、昨年は鹿児島県「燃ゆる感動かごしま大会」と2年続けて九州での大会でした。佐賀県SAGA2024での開会式は「雨・アメ・あめ」でしたが、競技が始まると「晴・ハレ・はれ」で「暑い・熱い・あつい」でやっぱり九州なんだな・・・

地元の人はみんな、我々選手達に道ですれ違えば、必ず「こんにちわ」と気持ちのいい挨拶をしてくれました・・・ということで、地元の力を貰った札幌選手団選手は昨年より「金メダル」「自己記録更新」「日本記録？」連発でした。とはいえ札幌選手団の皆さんは、日頃の練習の成果を十分発揮したことで、全国の舞台上で活躍し感動をもたらしたと思います。感謝・感謝です。

また、強化練習・大会帯同など、選手を支えてくれたコーチ・関係者の皆様に感謝し、選手の家族・学校・職場の皆様、温かく大会に送り出して頂いて、心からお礼申し上げます。

選手の皆さん、この大会で得た経験は今後間違いなく“宝物”になると思います・・・私も・・・来年の滋賀県を目指して・・・